

今回はオリタ・ノボッタ氏とオオサカンサックスパートの皆さんです！！

Listen to
Wind Music!

吹奏楽

Winds.nex

OSAKAN Magazine
NO.23, Summer

ミュージックアドバイザー就任記念
直オリイタ・ノボンタ氏

連載企画

オオサカンな談話室★第6弾！

—メンバーの素顔見せちゃいます—

演奏会レポート

第10回記念定期演奏会

昼下がりの音楽会Vol. 28~30

オオサカンコンサート

音楽鑑賞会

オオサカン・バンドフェスタ2011

オオサカンアカデミー・ウインドバンド

第3回ファミリーコンサート

2011年8月1日(月)発行

ミュージック・アドバイザー就任記念 オリタ・ノボッタ氏 直撃インタビュー

4月からオオサカンのミュージック・アドバイザーにサックス奏者のオリタ・ノボッタ氏が就任されました！オリタ氏とオオサカンの出会いは2年前のクリスマスLive。とにかく楽しめる演奏会をいつも発案して下さるオリタ氏と、とにかく面白いと思ったことは実行するオオサカンがこれからどのようになっていくのか…当団チーフマネージャーの松尾共智がいろいろなお話を伺いました！



—— まずは、ミュージックアドバイザー就任、おめでとうございます！これからオオサカンとやっていきたいことなどを教えて下さい！

ありがとうございます！光榮です。吹奏楽って何でも出来る音楽の形態だと思うんです。クラシック、ジャズ、ロック、演歌も何でも出来る。でもやっぱりやるからには少しつきつめたいというか…モーツアルトも出来るけどジェームズ・ブラウンも出来るぞとか、ハイドンも出来るけど歌って踊れるぞというような振れ幅が大きいもの、「この人たちは何者？」と言われるようなものを作りたい。目標とするものは「吹奏楽」ではなくて「オオサカン」。「オオサカン」がやってるのって吹奏楽って言うらしいよ」というようなものがみんなで作っていけると楽しいんじゃないでしょうか。そんな樂團は日本にはないで。

—— なるほど…普通だと演奏するだけ、ということでしょうか？

そうですね、オールマイティーに何でもこなしていくというよりは、演奏するだけというか…。やはりもちろん腕足があるけれど、クラシックもエンターテインメントの要素が必要だと思うんです。モーツアルトにしてもベートーヴェンにしても当時のボビュラーミュージックだったはずなんですよ。今のレディー・ガガとか他のアーティストと同じ扱いだったはずなんですよね。だから今はクラシックと呼ばれるものも、どの時代でも何らかの形でエンターテインメントの中心だったんですよ。今回も7月23日に親子ふれあいコンサートをやって、「吹奏楽って楽しいな」とか「樂器って面白いな」って思ってもらえると良いなと思います。コンクールに向けて頑張る中高生にとどまらず、全然吹奏楽をやったことのない大人の方にとどまらず楽しめる音楽の形になればと、きっと楽しいかなと思っています。

—— 「オオサカン」という新しいジャンル」という考えはオオサカンとしても理想としているところで、お客さんに「オオサカン」を楽しんでもらえたらと思うのですが…そうですね。「『オオサカン』って次は何やるんだろう？」と思ってもらえるようなものを作っていくと楽しいんじゃないかなと思います。今回の親子ふれあいコンサートも、準備はすごく大変なんですけど、このバンドのメンバーの人たちとなら出来るんじゃないかなと思って…「ここ踊りませんか？歌ってもらえますか？」と言っても怒られないんじゃないかなと(笑)

—— メンバーはノリノリでやりますから(笑)オオサカン自体の印象はいかがでしょうか？
そうですね…オオサカンのCDも以前からたくさん聴かせていただいているんですけど、やはり木村先生の音楽が素晴らしいくて、僕は昔からファンなんです。そういう音楽も出来て、エンターテインメントも出来て…という感じで振れ幅を大きく、両方生きてくると良いですね。どっちつかずになると良くないんですが、オオサカンなら出来ると思います。

—— なるほど…オオサカンとの共演が今回で3回目になりますが、変化はありますか？

毎回良くなっていますね。自分の気持ちもそうですが…一緒に過ごして音を出している時間も長くなって、一緒に本番を作っていた過程があって…そうやっていろいろ試しながら共有している時間が積み重なっていると思うんです。それがあるから今回のミュージック・アドバイザーのお話を頂いた時にすぐ嬉しかったですし、楽しくなるだろうなと思いました。



—— オリタさんにとて吹奏楽とは？

ミュージシャンって生活の大半が音楽だと思うんです。車中でも移動中でも、音符が鳴っていたり歌詞が浮かんだり。そしてそれがそのまま作品になります。僕はいつもミュージシャンという腕足を持っていたいなと思うんですが、もともとサックスを始めたきっかけも吹奏楽で、米米CLUBをやっていた時も吹奏楽コンクールを聴きに行ったりCDを聴いたりしていて…。自分の原点になっているのが吹奏楽なんですね。まさかこういう形で吹奏楽に戻ってくるというか、指揮をしたり演奏会を作ったりという位置にいるとは思わなかった。だから僕はとっても幸せなんです。

—— なるほど…オリタさんの中で吹奏楽が占めている割合が大きいように思います…実は米米CLUBが解散した時にすごく思ったことがあるんですが…いろんなアーティストと共に演じていても、やっぱりそのアーティストありきで筋が進んでいくので、突然仕事がなくなることもある。サックスをそのバンドでちゃんと吹ける人ならだれでも良いんです。僕じゃなくても良い。じゃあ「オリタの代わりはないよね」と思ってもらえることって何があるんだろうと思って…その時にツアーの仕事を全部やめた。全部断って、自分のやれることを探したんです。そうすると…僕は昔から吹奏楽をやっていて、吹奏楽コンクールも35、6年一度も欠かさずに聴いている。今は名だたる名門校の初出場の演奏から聴いているデータが頭の中にはあるので、ここに自分しかできないことがあるんじゃないかな、今まで米米CLUBでやってきたことも生かせる場所が吹奏楽にあるのかな、と思ったんです。まだまだと思うこともありますけど、「他に誰がいるかな？」…やっぱりオリタしかいないよね！」というのを目指してやっています。

—— オオサカンとしても、木村先生の音楽を軸に置いて、ここにもう一つ新要素を…と思った時にオリタさんしかいないと思ったんですよ！新しい形でオオサカンをやっていくというのがすごくありがたい事ですし、本当に楽しめます。こちらも本当にありがたいです。やっぱり音楽の世界って一瞬で、飽きられるもの一瞬。常に進化だと思うんです。進化しないと停滞になる。停滞は後退。常に新しいものを作っていくかしないといけないと思います…

—— オオサカンにしか出来ないこと、今だから出来ることをやっていきたいですよね。それでは最後にファンの皆様に一言！

オオサカンと一緒にやらせてもらうことになりました。また違った形のオオサカンのスタイルを作っていくと思いますので、ぜひ楽しみにして聞いて、ぜひ足を運んで頂けたらと思います！

—— 素敵なお話、ありがとうございました！これからもよろしくお願いします！

去る7月23日、豊能町立ユーベルホールにて親子ふれあいコンサートを開催いたしました。

今回もオリタ氏のアイディアがふんだんに盛り込まれ、大変楽しい演奏会となりましたが…詳しい内容は次回たっぷりとお届けいたします！

これからもオリタ氏とオオサカンが作っていく新しいエンターテインメントをお楽しみに！



連載企画

メンバーの素顔、見せちゃいます オオサカンな談話室★第6弾!!

今回の談話室はサックスパートの皆さんです！
クラシックからジャズまで吹きこなすサックスは、誰もが憧れる存在☆
オオサカンのサックスパートはどんな人たちの集まりなのか？！
演奏も喋りも息ぴったりの談話室、お楽しみください♪



—— まずは自己紹介からお願いします！

岩本：ソプラノ・アルト担当の岩本です。生まれも育ちも大阪です。

大神：アルト担当の大神です。出身は福岡県です。

鈴木：テナー担当の鈴木です。大阪の河内長野市出身です。

川口：バリトン担当の川口です。本州最南端、和歌山県の出身です。

—— 皆さんはオオサカンに入る前からお知り合いでですか？

岩本：私は川口くんは別のサックスアンサンブルをやっていて…。大神さんはもともと知ってたんやけど卒業演奏会を開きにいったことがあるくらいで、あんまり喋ったことはなかったです。鈴木くんは…学校が一緒やけど直接の面識はなかった。「鈴木というやつがおる！」という情報だけ聞いていて(笑)

川口：実は昔、僕と大神さんと鈴木くんで別のアンサンブルをやったことがあって…

岩本：私だけ仲間外れやん！(笑)

—— これからはずっと一緒に演奏ですね☆お互いの印象を伺いたいのですが…まず岩本さんの第一印象は？



ソプラノ&アルトサックス
岩本 茉奈子

鈴木：美しい！

一問：おおー☆

川口：最初に一緒に演奏した時は、僕が練習場所に遅れて入っていって…すぐ入りづらかったんですが、岩本さんが「こっちこっち！」って暖かく迎え入れて下さって…

岩本：良いこと言うねえ！(笑) 私、最初の印象は「怖い」「近寄りがたい」って言われてしまうんですね…

大神：でも私は他の方から岩本さんにについて聞くことがちょくちょくあって…すごく明るくてお酒が好きで(笑)頗りがいがある方だなあと。

—— 川口さんの印象はいかがでしょうか？

鈴木：僕が初めて会った時は学生の有志で集まった時で、「真面目そう」というイメージでしたが、面白い面も少しずつ見えてきて…変わってるなあ、と(笑)

岩本：私の最初の印象は「男前」！それで懐柔で…イメージは「武士」！

一問：(笑)

—— 大神さんの印象は？

川口：「クールビューティー」ですね！僕が大学1年生の時にサックスの代表をされていたので…

鈴木：僕も「しっかりしている」という印象ですね。昔、アンサンブル練習をされているところを見学したことがあるんですが、すごく感動した覚えがあります。

川口：練習をされた跡がすごく見えるというか…努力の仕方が良い、と他の方も言っていました。



—— 鈴木さんの印象は？

鈴木：皆さん、良いコメントお願いします！

岩本：…うーん…

鈴木：何ですか、この感じ！

一問：笑

川口：僕が初めて会った時は…クールガイっていう感じでしたけど…

—— 鈴木さんの印象は？

岩本：えー！ そんなイメージは全然ない！

大神：私も初めは「しっかりして頼りがいがある」っていう印象でしたよ！

川口：周りが盛り上がっていても、その中で全体をまとめる感じで…だからオオサカンに入って、鈴木さんのいじられ方というか、風当たりの強さにびっくりして…

一問：爆笑

岩本：いじられるのが好きやもんね☆

鈴木：どっちかというと…、大好きですね(笑)

—— では話題を音楽に移しまして…吹奏楽におけるサックスの役割は？

岩本：全管と木管の接着剤だと思うので…全ての楽器の次き方をまねねることがすごく重要ですね。

—— なるほど…サックスはソロやセクションで目立つことが多くて、木管の中で主役というイメージが強いですが…

岩本：吹奏楽の中ではそうではないですね。

川口：普通に吹いたら音量だけでは主役級になってしまふので、それがかえってしんどくて…

岩本：そうやね、すぐに他の木管楽器よりも大きくなってしまうから…

大神：音色も混ぜないといけないですしね。サックスだけ目立ってもダメですし、アンサンブルとかソロとは全然違う吹き方をしないといけないですよね。

岩本：私が一番好きなのが、「となりのトトロ」でホルンと合うところ！ いつも気持ちよくて☆

一問：ああー！(笑)

川口：バリトンはあまり目立たない場所なので…

岩本：でもすごく重要なもんね！

川口：その代わりに、他の低音楽器とニュアンスを描えるのが難しくて…ティンパニやドラムのような音を出せと言われることもあります(苦笑)他の楽器の音色を真似しろと言われることがすごく多い気がします。個人的にはコントラバスのピッチカートと音の形が描うと「よし！」って思うんですが、だいたいそういうのは客席には聽こえていないで(笑)

岩本：そうそう！ ちゃんと音が混ざって新しい音色としてお客さんに届くと「よし！」って思うよね！

—— 他の楽器に比べて音が出やすいとも言われますが、そのためにいろいろなことを要求されたりしますよね。

岩本：音色だけでなく、曲のジャンルにしても…ジャズとか、いろいろなジャンルを吹ける。そこはサックスの醍醐味よね。

鈴木：最近は演歌とかもね。楽しいですよね！

川口：いろいろ出来るからこそ、どっちつかずになる場合もあって…。サックスでクラシックをやっている人口って世界的に見ても1%以下らしいですが、もっと広めていきたいなと思っています。

—— 最後にファンの皆さんに一言！

岩本：まだまだ未熟ですが、良い響きで皆さんに素敵な音楽を届けられるように頑張っていきます！

川口：そうですね…その場にいらっしゃったお客さんに、その場にしかない空気を伝えたい。でも伝えるだけではなく自己満足でもなく、演奏者も含めて良い時間がすごせたらなぁと思って…この理想論を捨てずに行きたいなと思っています。

大神：演奏会に行くというのは非日常の事だと思うんですが、そういう素敵な空間で少しでも心が普段と違う動き方をしてもらえたらいなあと…私が音楽を聞いて受ける感動を皆さんにも少しでも伝えられたらと思います。

鈴木：僕も音を通してお客さんに楽しんでもらったりとか、空間を皆さんと共有出来たらなと思うんですが…。オオサカンのサックスパートは美男美女が揃っておりますので…僕はその中のペットのような存在ですが(笑) そんなところも楽しんでいただけたらと思います！

一問：笑

終始なごやかな雰囲気で、笑いの絶えないサックスパート☆

今回お話を伺うことで、それぞれの新しい一面もたくさん見えました。

演奏会にお越しい際には、ソロだけでなく、他の楽器と吹いているサックスにもぜひご注目ください！

サックスパートの皆さん、ありがとうございました！





演奏会レポート

この春オオサカンと協定を結んだ豊能町での演奏会をはじめ、幅広い年齢層の方々にお楽しみいただける演奏会を多款行いました。その様子をレポートします！

音楽鑑賞会

北恩加島小学校音楽鑑賞会 豊能町ふたば園夕涼み会

6月23日、大阪市立北恩加島小学校での音楽鑑賞会。オオサカンおなじみの『銀河鉄道999』に始まり、「トトロ」「崖メドレー」など楽しい曲をご用意しました。また『トランペット吹きの休日』では金管楽器らしいキラキラとした音色でスピード感のある演奏を披露。続く『インマー・クライナー』ではクラリネットをだんだん分解し小さくして演奏、子供たちからも思わず「えー！」との声が！そして『ラテツキー行進曲』を使っての指揮者体験♪指揮でどんな風に変わるか見本を見せるとすぐにたくさんの立候補が！丁寧に指揮をする子、とにかく振り回す子などバラエティに富み、演奏者としても大変楽しい時間となりました。最後には『ビリーブ』を全員で熱唱！興奮冷めやらぬまま、アンコールで今話題の『マル・マル・モリ・モリ！』を演奏すると、「これ知ってる！」と思わず踊りだす子供たちがたくさん♪さらにアンコールを求める拍手が続き、とても楽しんで頂けました。



北恩加島小学校での演奏の様子



夕涼み会での演奏の様子

7月2日には、豊能町ふたば園の夕涼み会での演奏を行いました。今回はサックス4重奏と金管5重奏と盛りだくさん♪もちろん合同での演奏もあり、豪華な内容となりました。

子供たちに人気の『ブリキュー』や、お父さんお母さんもなじみ深い『ドラえもん』など、一緒に歌ったり手を叩いて演奏に参加したりと、大変楽しいひとときとなりました。それぞれの楽器の音色を紹介する場面もあり、子供たちにとっては、大きな楽器を間近で見られてとても貴重な体験となったのではないでしょうか。

オオサカンの鑑賞会は選曲・企画など、子供たちが選曲せず、楽しい時間を過ごせると大変喜ばれています。これからもいろいろなところでの鑑賞会を予定しています。あなたの街でもオオサカンに会えるかも？！

オオサカンコンサート

～懐かしのメロディーを吹奏楽で～

7月15日、豊能町立ユーベルホールにて、60歳以上の方々を対象としたオオサカンコンサートが開催されました。

まずは『星条旗よ永遠なれ』。演奏会で人気の高いマーチで今回も草やかに幕を開け、続くNHK大河ドラマ『江』のテーマの美しい旋律が会場中に響き渡りました。『あの日聞いた歌』では、懐かしの唱歌をメドレーでお送りし、『花』『桜の実』『春の小川』などを会場の皆さんと

一緒に歌いました。

続いてこちらも大人気のマリンバソロ『チャルダッシュ』。マリンバの吉川朋子が情熱的な演奏を披露しました。そして今回のメインは『歌姫～美空ひばりメドレー』。ヒット曲ばかりを詰め込んだこのメドレーは、『お祭りマンボ』『愛焼々』『川の流れのように』等が次々と現れる18分にも及ぶ大作!!たくさんの名曲に会場も盛り上がりいました。

最後には鳴りやまぬ拍手の中、何度もアンコールに応えお客様も大満足の様子でした。

フィルハーモニック・ウインズ大阪の楽員による

屋下がりの音楽会



マリンバ独奏の様子



サックス4重奏の様子

4月から毎月1回、屋下がりの音楽会を豊能町立ユーベルホールのロビーにて開催しております。

4月のマリンバ独奏では、普段なかなか聴く機会のない、マリンバの多彩な音色を楽しいトークとともに披露しました。続く5月の金管5重奏では、『ハトと少年』を2階から吹くパフォーマンスもあり、金管楽器の明るい音色が会場に響き渡りました。6月にはサックス4重奏、一風変わった『どんぐりころころ』やジャズのナンバーなど、サックスの魅力を余すところなく披露し、観客を魅了しました。

毎月たくさんの方にお越しいただいており、「全部歌っています！」という方もいらっしゃるほど、大変好評をいただいております。生の演奏を近い距離で聴くことができ、また楽しいトークもありますので、演奏者を身近に感じられる貴重な機会となっています。今まで行ったものはどれも大盛況！これからもどんどん開催してまいりますので、ぜひ一度お越し下さい！

フィルハーモニック・ウインズ 大阪の楽員による

屋下がりの音楽会

2011.8-10月

入場料：各500円（全席自由）

時 間：14:00開場（13:30開場）

*入場は先着100名様とさせていただきます。

豊能町立ユーベルホール（ロビー）

「クラシックの演奏会は敷居が高くて…」

そんなお客様の声から生まれた音楽会です。月に一度、気軽に屋下がりの音楽会へ足を運んでみませんか？

8月 27日（土）クラリネット&ギター

9月 17日（土）フルート独奏

10月 22日（土）複合アンサンブル

詳しくは… オオサカン

オオサカンアカデミー・ウインドバンド 第3回 ファミリーコンサート

6月11日(土)、第3回ファミリーコンサートが無事終了いたしました。あいにくの天気でしたが、大勢のお客様にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。



大人の本気！？AKB48メドレーでの詠わ付け合

アカデミーが設立され丸1年が経過した今回のファミリーコンサート。

第1部は『ライオンキング』や『ブラックジャック』など、1曲あたりの演奏時間が長く、緊張の連続でした。模範となる音源を繰り返し聞きながら練習し本番に臨みました。お手伝い頂いたオオサカンの方々の力はもちろん、曲の持つ力と私たちの力を引き出そうと努力して頂いている松尾先生の指揮とが相まって、練習以上の演奏が出来たのではないかと思っています。というのも演奏中、練習時には味わったことの無かったゾクゾクとした感覚を久しぶりに味わえたからです。



今最も頑張さんにとても頑張って頂きました！



子供達とプリキュア&ゴーカイジャーを踊りました

第2部は『AKB48メドレー』や『あの日聞いた歌～唱歌のメドレー～』など、誰もが馴染みのあるポップスステージ。曲数も少なくありませんでしたがテンポ良く進んでいき、曲の間には松尾先生の軽快なおしゃべりで会場全体が和やかな雰囲気になりました。そのおかげで私たちもとても楽しんで演奏できました。

私自身20年弱のブランクを経て第2回のコンサートより参加させて頂いております。毎週の練習では、頭では分かっているのに、いざ楽器から出てくる音は「？」の連続です。これからも少しでも良い演奏が

お届けできるように、個人的にもアカデミーとしても練習して参ります。

次回11月3日(木・祝)に行われる秋の音楽会は、オオサカン主催の演奏会にアカデミーが共演させて頂くという形で開催いたします。また会場で皆さんにお目にかかるのを楽しみにしております。

チューバパート 原田 敦史



次回の演奏会

昨年たくさんの方々にお越し頂いた秋の音楽会、大好評につき今年も開催します！

「つなごう吹奏楽の輪」と題した今回は、昨年つながりの出来た府立高等学校吹奏楽部による素敵な演奏に始まり、オオサカンヒアカデミーのみなさんで、名作ぞろいの『坂本冬美メドレー』やこの春新作が公開された『バイレーリ・オフ・カリビアン』などおなじみの曲を演奏します。

そして今回も『六甲おろし』ではジェット風船を飛ばします！演奏会最後には会場にお越し頂いた皆さんと一緒に『ふるさと』の合唱、今回も盛り上がること間違いなしです！

また演奏だけでなく、縁日や楽器体験コーナーなどお子さんから大人まで家族みんなで楽しめちゃう企画を今年もご用意してます！文化の日は阪神緑地野外音楽堂で、みんな一緒に吹奏楽つながろう！

オオサカンアカデミー・ウインドバンド メンバー大募集!!

オオサカンアカデミー

検索

オオサカンバンドフェスタ2011

「自分たちの演奏がどんな風に聞こえているんだろう？」
「コンクールのリハーサルをホールで出来たら良いのに…」
オオサカン・バンドフェスタはそんな声にお応えして開催しました。

7月16日、初のバンドフェスタが開催されました。

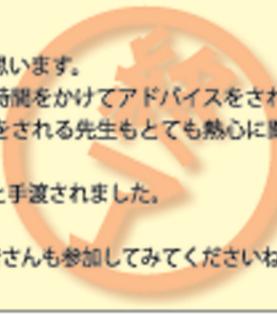
開催場所であるサーティホールは実際のコンクール会場にもなっており、貴重なホール練習の機会にもなったと思います。

各学校、コンクールと同じように演奏したあとは、音楽監督の木村氏による熱い指導！スコアを片手に全ての曲に時間かけてアドバイスをされ、まるで魔法のように音が変わる様子にはオオサカンのメンバーからも思わず拍手が！生徒さん達はもちろん、指揮をされる先生もとても熱心に聞き入っていました。

また(株)ワコーレコードによる当日の録音CDと、オオサカンの楽員による各楽器への講評がその日のうちに各学校へと手渡されました。

夏のコンクール本番に向けて、全ての学校の皆さんへの応援の気持ちと共に、バンドフェスタは幕を閉じました。

オオサカンでは、バンドフェスティバルなど日々吹奏楽部で頑張る中高生を応援するイベントも開催しています。ぜひ皆さんも参加してみてくださいね！



第10回記念定期演奏会 吹奏楽の新たな神話



4月30日(土)、いずみホールにて第10回記念定期演奏会を開催いたしました。

記念すべき第10回は「吹奏楽の新たな神話」と題して、音楽監督の木村吉宏氏が導入とするアルフレッド・リード氏の作品と、木村氏と生前から親交のあった大栗裕氏の作品を取り上げました。

第一部は生誕90周年を記念し、リード氏の作品から3曲。吹奏楽経験者なら彼の作品を一度は演奏した事があるのではないかでしょうか。オープニングには爽やかで明るい『春の獵犬』、2曲目には昔の吹奏楽コンクール課題曲であり、壮大で美しい『シンフォニック・プレリュード』を演奏いたしました。そして第一部の最後には日本で人気の高い『エル・カミーノ・レアル』。木村氏のタクトにより情熱たっぷりに演奏されました。同じリード氏の作品でも、全く雰囲気の違う3曲、それぞれの特徴をお楽しみ頂けたと思います。

第二部は大栗氏の作品、『吹奏楽のためのディベルティメント』で神秘的に幕を開けました。この曲は今回オオサカンが「発掘」するまでほとんど演奏された事のない曲で、解説や音楽作り等、随所に木村氏のこだわりが垣間見えました。続いては、こちらも演奏される機会の非常に少ない『挽歌』。静まった会場に、独特の旋律が響き渡りました。最後には、吹奏楽コンクール等でも演奏されることの多い『吹奏楽のための「神話」』。この曲は日本神話のストーリーを忠実に音で描写した曲であり、観客の皆様には1つの壮大な物語を味わって頂けたのではないかと思います。

そしてアンコールももちろん、リード&大栗作品! 大栗氏作曲の『バーレスク』とリード氏作曲の『セカンド・センチュリー』で、それぞれの作曲家の世界観を表現し、幕を閉じました。

第10回の定期演奏会を迎えるとともに、4月から豊能町立ユーベルホールを拠点として活動することで、オオサカンにとって新たな幕開けとなりました。これからもオオサカンはさらに素敵な演奏をお届け出来るよう、演奏はもちろん、企画にも磨きをかけてまいります。今後もオオサカンの活動にぜひご注目ください!

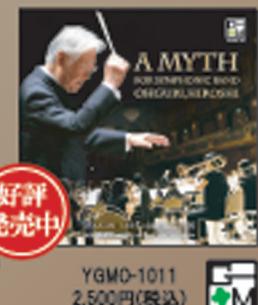
これまでの定期演奏会ライブCD
お求めはオオサカン公式ホームページで



オオサカン・ライブ・コレクション Vol.10
吹奏楽のための「神話」
～天の岩屋戸の物語による～

20世紀を代表する吹奏楽作曲家リードと大栗、
2人の音楽を知り切った木村とオオサカンのコンビによる演奏は必
聴の名盤あり!

序曲「春の獵犬」/アルフレッド・リード作曲
シンフォニック・プレリュード/アルフレッド・リード作曲
エル・カミーノ・レアル/アルフレッド・リード作曲
吹奏楽のためのディベルティメント/大栗 雄介作曲
挽歌—浜丘直光先生の御靈廟で弔ひ—/大栗 雄介作曲
吹奏楽のための序曲—アーチーの冒険—/大栗 雄介作曲
吹奏楽のためのバーレスク/大栗 雄介作曲
ゴンサートマーチ「セカンド・センチュリー」/アルフレッド・リード作曲



好評
発売中

YGMD-1011
2,500円(税込)



第11回定期演奏会

Jan Van der Roost

指揮・作曲:ヤン・ヴァンデルロースト

シンフォニア・ハンガリカ

交響詩「モンタニヤールの詩」

ブスター~4つのジブシー舞曲

フラッシング・ワインズ



2011
9/25(日)
16:00開演 (15:00開場)

3D サーティホール (大東市立文化ホール)

詳しくは... オオサカン

検索

注目!
ヴァンデルロースト氏の指揮で
オオサカンと一緒に「アルセナール」を吹こう!

日時:9月23日(金)13:00~15:00
(受付時間:12:00~12:45)
会場:豊能町立ユーベルホール

申込方法
当日、第11回定期演奏会のチケット(当日購入可)をお持ちいただければ、どなたでもご参加頂けます! 謝謝! どうもありがとうございます!

備考欄
お持込みいただくもの

楽器(大型楽器は提出はございません)。
打楽器はスネアドラムがシンバルをご持参下さい。

※フルセナリオの合奏練習時まで、リハーサルを見学する事ができます。
受講料は各自で用意して下さい。

チケット取り扱い 岐阜校生以下の方は事務所取り扱いのみ

チケット販売:0570-02-9999 (Pコード:135-461)

大東市立総合文化センター:072-873-0030
(受付時間 9:00~21:00 文化ホール/2F 食堂営業時)

豊能町立ユーベルホール:072-738-7700

オオサカン事務所:ticket@osakan.jp (チケット専用)
072-741-8236 (FAX)

	一般	高校生以下	フレンズ
S席	3,500円	2,500円	3,000円
A席	3,000円	2,000円	2,500円
B席	2,500円	1,500円	2,000円
C席	—	1,000円	—

※全席指定、各席各300円追加(フレンズの料金別途算入)

※未成年児童の入場はご遠慮いただけます。